

令和3年度 自 己 評 価 表

愛媛県立松山商業高等学校 定時制
学校番号 (25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為なる形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 — 地域を活性化させる人材の育成 —
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
教科指導	各種検定試験への挑戦	各種検定試験の取得に全員が挑戦すること(挑戦率100%)を目指します。 A: 100%、B: 99%~80%、C: 79%~60%、D: 59%~40%、E: 40%未満	A	全生徒が、各自の学習到達度に応じた検定試験に挑戦し、取得に向けて学習に励んだ。挑戦率は100%であった。	自分のペースや難易度に合わせて検定試験に挑戦させ、自信や達成感を持たせたい。
		各種検定試験合格率70%以上を目指します。 A: 70%以上、B: 69%~60%、C: 59%~50%、D: 49%~40%、E: 40%未満	B	今年度の合格率は65.3%で、昨年度(61.5%)より上昇した。意欲的に上位級に挑戦するなど、それぞれが目標を持ってコツコツと努力する姿が見られた。	検定試験への意欲を引き続き高め、不合格者は学習を深めて再度挑戦させるか、または上位級を目指させたい。
	漢字テストへの挑戦	漢字テスト平均80点以上の生徒50%以上を目指します。 A: 50%以上、B: 49%~40%、C: 39%~30%、D: 29%~20%、E: 20%未満	D	漢字テストの平均点が80点以上の者は全体の約27.8%であり、目標を大きく下回る結果となった。昨年度(47%)よりも数値が低下している。	課題の一つとして、テスト当日の欠席が非常に多いことがあげられる。欠席は0点として扱っているが、一回一回の試験を大切にしよう、テスト当日に欠席しないよう指導することが肝要である。また、SHRを活用した反復練習などによって、点数の底上げを図ることも必要である。
	分かる授業の展開	分かりやすい授業を実践し、授業の満足度100%を目指します。 A: 100%、B: 99%~90%、C: 89%~80%、D: 79%~70%、E: 70%未満	D	生徒アンケート「基礎・基本が身に付いてきているか」は前年と同じく2.9(72.5%)。「楽しい授業になっているか」が0.1上昇し3.1(77.5%)となっている。	生徒の授業態度は積極的に感じられ、毎日分かる喜びを感じている様子である。本校は電子黒板等が充実しており、活用場面を増やしていきたい。
特別活動	学校行事への参加	生徒が主体的に学校行事に取り組み、学校行事の満足度100%を目指します。 A: 100%、B: 99%~80%、C: 79%~70%、D: 69%~60%、E: 60%未満	B	生徒アンケートにおいて、「学校行事の実施内容は適切で、積極的に参加でき、充実していますか。」という問いに対して肯定的な回答をした生徒は約82%で高い水準であるが、目標には到達していない。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、例年と同じような活動を行うことが難しくなっている。感染症と付き合いながら工夫して学校行事を実施していく必要がある。
生徒指導	出席率の向上	出席率90%以上を目指します。 A: 90%以上、B: 89%~80%、C: 79%~70%、D: 69%~60%、E: 60%未満	C	出席率は79.5%である。なお、長期欠席者の欠席数もカウントした結果である。	1~3年生の出席率は90%を超え目標達成の水準に到達しているが、4年生の出席率だけが極端に低かった。次年度は全学年で出席率の目標が達成できるよう指導を徹底していきたい。
	1か年皆勤者	1か年皆勤者・精勤者30%以上を目指します。 A: 30%以上、B: 29%~25%、C: 24%~20%、D: 19%~10%、E: 10%未満	C	1か年皆勤者は4名で、全体の22.2%となった。前年度が1名のみであったので改善された。	学期間皆勤賞を短期的目標として挑戦させ、最終的に1か年皆勤者を増やしたい。
	挨拶の励行	さわやかな挨拶ができる生徒100%を目指します。 A: 100%、B: 99%~90%、C: 89%~80%、D: 79%~70%、E: 70%未満	B	ほとんどの生徒が、校内での挨拶ができている。授業の開始や終わりの挨拶もさわやかな挨拶ができている。	教員からの言葉掛けに対して挨拶を返している生徒が多い。これからは、進んで積極的な挨拶ができるよう指導していきたい。
	生徒理解	年間5回以上の個人面談を行うなど、生徒理解に努めます。 A: 5回以上、B: 4回、C: 3回、D: 2回、E: 1回未満	B	各クラス担任は、年度初めに1回、学期末の面接週間に3回、年間計4回は最低限実施しており、この他にも随時面談しており、生徒理解に努めている。なお、教職員アンケート「年間5回以上の個人面談を行うなど、生徒理解に努めているか」の結果については、担任以外の回答が含まれているためである。	今年度は退学者もなく、教員と生徒間の距離は近く、良好な関係が保たれた。たいいていのことは相談できる望ましい関係であると思われる。今後、よりきめ細かい指導に生かしていきたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
保護者 連携	保護者の学校行事への参加	保護者の学校行事への出席率50%以上を目指します。 A: 50%以上、B: 49%～40%、C: 39%～30%、D: 29%～20%、E: 20%未満	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての行事を校内関係者のみで行っており、保護者等に参加・参観いただける行事等は実施できなかった。	新型コロナウイルス感染症が収束すれば、積極的に保護者等に参加していただける行事を実施していきたい。
		ホームページの更新を年間100回以上行い、生徒の活動状況を積極的にお伝えします。 A: 100回以上、B: 90回以上、C: 80回以上、D: 70回以上、E: 70回未満	A	ホームページの更新は年度末までに年間100回を超える見通しである(1月末時点で90回)。週に2～3回程度学校生活の様子に関する情報発信ができており、生徒は積極的に閲覧し、好評を得ている。	PTA総会や保護者懇談、家庭訪問、中学校訪問でも積極的に保護者にホームページの存在を宣伝してもらい、認知度を高めていきたい。また、今年度より学校ガイドにホームページのQRコードを掲載し、閲覧を促している。
進路 指導	進路実現の支援	各機関との連携を密に行い、進路実現100%を目指します。 A: 100%、B: 99%～90%、C: 89%～80%、D: 79%～70%、E: 70%未満	E	進学希望者1名には、希望する専門学校の情報収集を早めに行い、進学相談会等はWEBで参加するなどの取組により合格した。進路を定めない生徒1名への対応はできていない。	早い段階から具体的な進路実現を意識させ、各機関との連携を密にする。なお、未決定者1名については、本人と引き続き情報共有していく。
教職員	業務改善・働き方改革	年次有給休暇の取得率80%以上を目指します。 A: 80%以上、B: 79%～70%、C: 69%～60%、D: 59%～50%、E: 50%未満	A	令和3年8月末時点での取得率は、80.6%であった。長期休業中等に連続取得するなど、計画的な取得が図られ、目標を達成することができた。9月以降も引き続き計画的な取得状況となっている。	取得率が90%を超えた職員が75%であった一方で、取得率が50%に満たなかった職員が25%いる。次年度以降は全職員が80%以上の取得となるよう、休暇を取得しやすい職場づくりに努めていきたい。

※評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。